



# 議会報告

第五回町議会定例会が、九月九日から二十六日まで十八日間の会期で開かれました。

初日の九日は、専決処分の承認五件、条件の一部改正など三件、水道事業会計決算認定、人事関係四件などが可決されました。

二十五日七人による一般質問がありました。

そして二十六日就労センターなどの条例制定や一般会計補正予算等が可決されました。

一般質問などその概要を報告します。

## 町政に対する一般質問

### 役場庁舎に冷房設備を

◆上村 広 治議員

①夏の冷房設備がぜいたくだという時代ではなくなった。現在議場用として設置している冷房設備を庁舎事務室にも活用できないか。

電力料は、農協本所の例では、七、九月の一箇月平均二十一万七千円ということである。事務能率のアップと町民サービス向

上のため、冷房設備について町長の考えは。

②広報かわにしで、議会の審議内容などをくわしく町民に伝え、町政について知ってもらい、これを町の活性化に結びつけたらどうか、その考え方を伺いたい。

◆南 雲町長

①行革推進の立場から少数精鋭の理念に基いて、事務能率の向上は必至であり、冷暖房設備など事務環境の向上を図る必要があると感じている。

設備費、電気料等東北電力に調査依頼中である。財政の許す範囲で、来年度からでも着手したい。

②多くの市町村で「議会報」

を議会自身で編集し、詳報している。郡内では、当町だけが発行していないようだ。

広報は、町政の動きを正確に町民に伝えるうえで重要なことであり、現方式では、どうしても内容が硬くなりがちだが、できるだけ掲載するよう対応したい。さらに庁内に、広報委員会というような組織を設けることも考えてみたい。

## 畜産公害と環境保全

◆小林 寅 雄議員

千手養豚団地は立地、設備、管理面等と、規模の拡大で、公害防止の対応が不十分のまま、近郊住民や流末耕地へ多大の被害を及ぼし、最悪の事態となっている。

被害者の立場にたった行政の積極的対応と、養豚農家への指導改善の徹底で、両者の共存共栄の道を切り開くことを強く要請する。町長の考えは。

◆南 雲町長

当面の問題は、豚舎内の清掃励行、飼料に添加する脱臭剤の見直し、密閉豚舎施設の年次計

画的改善、ふん尿一貫処理施設の導入等を考えてゆきたい。

四十八年七月三十日千手養豚団地組合代表と町長間で協約書を締結しているが、その中でいまだ実施されていない団地南側の植樹など、協約の順守をうながしたい。

畜産公害対策協議会を発展的に改組し、時代の要請に対応した公害全般について審議いただくため、公害対策審議会を七月一日付けで発足した。地域住民と畜産農家の共存共栄には、たい肥センターの具体的協議とか、養豚団地の移転を含んだ集中化問題や将来計画を審議いただきたいと考えている。

八月二十七日十日町保健所で魚沼農政事務所ほか関係機関と養豚団地組合が、公害対策懇談会を開いた。その結果、浄化槽一基を早急に増設し、現在使用



千手養豚団地

中の浄化槽を改修して、水質汚濁に万全を期することを確約した。今後、行政としても監視につとめたい。

## 畜産公害と当面の問題

◆柳 藤 作議員

畜産公害の抜本的改善をはかるには、たい肥センターの早期完成が、一番望ましいと考え、先に提案したが、その後検討した結果はどうか。また当面の問題として、

- (一) 脱臭剤散布の検収方法
- (二) 脱臭剤の使用量は適正か。助成の割合は。
- (三) 無使用時との比較データは。
- (四) 投薬効果の有無
- (五) 悪臭の発生日数は。
- (六) 悪臭対策は、ふん尿の処理方法等とは別に、原因はないか。
- (七) 積出し作業の日時と気象条件の相関は。

◆南 雲町長

たい肥センター構想は、土づくり運動と畜産公害の対応として、国県の補助事業で来年度具体化したい。位置、規模、費用負担、維持管理をいかようにす

るか問題である。採算のとれない施設であり、生産者から十分理解いたなければふみきれない。特に位置については、新たな公害を起こしてはと思ひ、慎重に考えなければならぬ。大勢の住民に迷惑をかけている現状から、行政としてもいささかな費用を投下することは、全体の住民からも許していただける問題と考へている。

◆須藤 保健衛生課長

(一) 脱臭剤の検収は毎月十日に前月分の報告を求めている。六十年実績で、浄化槽等の電気料を含めた単純平均で、一養豚場当たり百六十四万八千円となっている。

(二) 脱臭剤は毎日出るふんに約〇・二%、かくはんの場合は、〇・五%を散布指導している。一日二〜三回、一養豚場当り、二〇キロ入り一〇〇袋を配布して、その費用の五〇%を助成している。

(三) 四比較データはないが、春夏の悪臭時期に、きめ細かに対応するねらいであり、応急処置である。主としてたい肥舎に散布している。脱臭剤散布でハエの発生は激減している。  
(五) 五十九年以来調査していないのが実情である。

(六) 豚舎のにおいが全体の六〇〜七〇%のにおいなら、豚舎の密閉化で悪臭防止も可能だといふことである。クーラーの設置は、経済的な面で生産者の合意が得られない。  
(七) 午後二時から夕刻にかけて積出しやくははんはしないよう指導している。



中屋敷地内の転作田

仙田地区の過疎対策

◆登坂 茂議員

① 三十年と六十年の国勢調査を比較すると、仙田地区の世帯は半減、人口は三分の一に減少した。その原因は、  
(一) 嫁、婿がなく、適齢期を過ぎて町内外へ出る人が多い。  
(二) 町道、農道、災害復旧負担

金など維持管理的な部落費が増大したため。

(三) 豪雪対策の遅れから、消パイは、中仙田の国県道と赤谷の国道しかなく、通勤者の車庫確保に苦労している。

雪害による春の耕作道の維持は、本年度も県費だけで町負担はなかった。その分、部落費増となり、個人負担の増となった。それら、仙田地区の過疎防止策を、町長はどのようにお考えか。

② 六十二年産米の米価据置きと米をめぐる情勢はきわめてきびしい。六十二年産からのポスト三期対策は、転作の長期展望にたった転作物選びが重要である。そこで、畑作物の特産品として、

(一) 里芋、ハツ頭がある。作りやすくズイキは酢漬として食味もよく、作付を奨励しては。  
(二) 葉たばこ減反による畑や荒地にクリを植えたらどうか。町長の考へは。

◆南 雲 町長

① 仙田地区は、町の過疎化現象の縮図ともいえる。立町以来の地域振興事業はすべてが、過疎対策に帰結するといつても過言ではない。  
全国過疎市町村のなかで、最

近人口がふえた一部市町村の要因を調べたところでは広域圏の視野にたった企業誘致や地域産業の活性化、交通条件改善による通勤圏拡大と生活環境改善によるベッドタウン化となっている。

町でも国道二五二、同四〇四、県道小千谷十日町津南線の整備促進を強く働きかけ、通勤圏拡大や豪雪をものもしない生活環境を創り出すことだと思ふ。

これらの施策を効果あるものにしていくには、議会の皆さんとともに英知を結集し、ストップ・ザ・カソクを実現したいと念願している。

② (一) 里芋の反収は、全国で二〇〇〜一四〇〇キロで市場価格はキロ当たり千二百円程とかりの高収入が見込まれる。

しかし、種子が高く収穫時に労力を要するのが課題である。  
(二) クリは、十日町にも産地がある。一〇アール当たり七万五千円程だ。共同防除体制をとる必要から五〜一〇ヘクタール以上の団地でないコスト高になる。関係方面と十分協議したい。

水田再編の長期計画は

根津健治郎議員

◆根津健治郎議員

① (一) 塩辛地区企業誘致のその後の経過と見通し。これから企業誘致の方針

(二) 町費で技術研修生派遣、専門学校(大学を含む) 入学者奨学金制度を創設し、人材養成を図り、独立企業設立育成を推進してはどうか。

(三) 小規模事業所までの道路除雪を町で、できないか。  
② 来年度から第三期水田再編対策に入り、転作面積の割当てもさらに増えると思ふ。従来は面積消化に重点がおかれたが、今後は転作面積の定着化をはかるなど、長期計画による産地づくりが必要と思ふが伺いたい。

◆南 雲 町長

① (一) 小千谷に進出した新潟三洋電子の取引企業が、五十九年に隣接市町村に用地を取得したいという話をきき、接渉の結果八分どおり塩辛に進出する見通しを得た訳である。ところが、円高により、輸出関連企業は厳しい状況となり、この企業も設備投資を抑制している状況である。  
本年二月同地区を農村地域工業導入地区指定を申請したり、国庫補助で取付道路を整備する予定で、地域のご協力を得ながら、先の企業に限定することなく(次ページへつづく)

(前ページから)

く、所期の目的を達成したい。  
(二)有益な企業誘致を進めるためにも、地場産業の発展のためにも優秀な人材を養成確保していかなければなりません。研修生の派遣や奨学生制度についても前向きに検討し、異業種間の交流など企業にも指導したい。

○増、転作奨励金は、基本額が引下げられそうな見通しであり、当町の農業は、新たな重荷が課せられることは避けられそうもない。

集落単位に、水田農業確立地域あるいは集団営農推進地域のようなものを設け、計画を樹立し、ブロックローテーション等の高度な水田農業の展開を図りあるいは転作田の団地化とか、高度利用のもと転作目標を達成したいと考える。

◇高橋建設課長

①(三)六十年代から、除雪計画路線外にある事業所が自分で除雪しているところには、補助金制度を設けている。該当事業所が十か所ある。補助金総額百万円である。

◆戸田哲次議員

町は他にさきかけてほ場整備を完了し、企業誘致にも力を入れて来た。一昨年来、企業誘致委員会を発足させ成果を上げつつ進んできたところである。

ところが、世界的な産業構造の変化、特にアメリカの巨額な財政赤字を日本の輸出攻勢だと決めつけられ、そのおろが町の企業誘致にまで及ぼうとしている。

今後の企業誘致の取組みはどうか、町長の見解は。

◇南雲町長

成長分野の製品を手がける企業、国内ユーザー向け仕様に機械を新設する企業、あるいは、海外に活路を見出す企業など、この円高でも設備投資を行っているものもあり、企業誘致に絶望的な考えはもってはならないと考えている。

過疎化の進行は、地域に雇用の場が少なく、若者にとつてとどまる魅力にとぼしいということが最大原因になっている。まず、若者はその能力を發揮できる職場を確保してやることだといわれる。

経済基盤の虚弱な我が町にとつて、企業誘致が不可欠の課題

円高不況と企業誘致

であり、特に新規卒業者雇用型企業の誘致に最大の努力を傾注すべきであると思われる。

この考えは就任以来、私の変わりない基本施政でもある。若者が二十一世紀に向かって定住できる条件整備を今後一層推進する所存である。

原発の送電線建設受入れ

◆田口直人議員

①七月二十四日送電線ルートが公表され、地元の説明会も終わり、大きな波紋を投げかけている。第一ルートとちがいが、町を東西に横断し、家屋への近接ほ場整備田へ塔が設置されるといふ第二ルートの建設受入れに、大きな不安と不満がある。

アメリカのスリーマイル島やソビエトのチェルノブイリの事故で、三〇キロ以内は住民避難区域となった。柏崎原発から三〇キロの円を描けば、町は七割がその圏内に入る。

町当局の受入れ賛成の理由を住民が納得できるようお答え願いたい。

②来年度からのポスト三期水田再編には、農業現場では大

な不安に包まれて、これ以上の面積が増えれば、その割当て達成さえ危ぶまれる現状である。

補助金に頼らなくともよい野菜や園芸作物等なんとしても育成しなくてはならない。豪雪地の町農業の大きな岐路を迎え、そのあり方とポスト三期対策についてお尋ねしたい。

③国道二五二の通称三領坂の改修と除雪体制改善をお願いしたい。

◇南雲町長

①五十八年通産大臣の諮問機関総合エネルギー調査会では、原子力発電を石油代替エネルギーの中核として位置づけ、原発の推進を国の課題としている。

県をはじめ関係行政は、国策であり公共公益事業である原発開発事業遂行に理解を示しているところであり、当町も同様な姿勢で理解しているところである。

送電線の建設は、地元にとつて様々な影響を受け、住民にとつて不安があることも事実である。今後、東京電力と協議し、不安や心配の解消に努め、具体的な措置をとるよう要請してゆきたいと思う。

②ポスト三期は、来年度に向けて農政審議会でも検討されてい

る過程であつて、近くその骨格がなされる見通しである。

転作目的の達成に向けての誘導対策の強化、生産性の高い転作物の生産主体の確立等について、農協と協調一体化の中で進めてまいりたいと思う。

町農業のあり方を考える際、第二種兼業農家の農地を、専業農家か専業指向農家に集めて規模拡大を図り、これを中核農家に育てあげることであろうと思う。農業を真に産業としてとらえるのか。その場合兼業農家の生活をどう導くのか、あまりにも重要な問題であると同時に、国の政策の推移とかかわる大きな問題であろうと思う。

③国道の改修は、小海川橋架替えにともなつて前後三三〇メートルは改修済みである。小根岸から七〇メートルが用地買収未解決で、事業ストップしている。用地買収の協力が得られれば、県単で工事再開できる見通しだ。

除雪体制については、本年度から直営路線ではなく、業者委託に切替える計画だときいており、今までは、かなり改善されると期待している。

以上質問順に掲載

### ● 専決処分の承認

専決処分は県内町村で組織する五つの組合規約の変更が承認されました。この内容はすべて西蒲原郡「中之島村」が、十月一日から「中之島町」となることによるものです。

### ● 条例の一部改正

表彰条例と、職員給与条例、附属機関設置条例の一部改正が可決されました。

表彰条例は附則の一部を改正したものであり、職員給与条例は、行政職給料表をその職務で格付分類したものに改めました。附属機関設置条例は、町長が委嘱する審議会等の機関を、別表としてまとめたものです。

### ● 財産の譲与

なかまの家に隣接する町有地五、七五〇平方メートル（約一、七三九坪）を、社会福祉法人あかね会へ無償で譲与することを決めました。

### ● 人事関係

九月十七日任期満了した選挙管理委員と同補充員を選挙し、それぞれ次の四人が選ばれました。

選挙管理委員

中央町 太田長栄（再）  
上野 上村信栄（シ）  
木落 和久井 守（新）  
赤谷 長谷川力一（シ）

同補充員  
坪山 中村謹治  
三領 南雲隆三  
原田 丸山誠一  
中仙田 樋口正信

補充員 選挙管理委員が万一欠けた場合に、ただちにその後任となるよう予め選任しておくことになっています。委員として補充される順序も決まっています。（右掲載順）

九月十五日任期満了した教育委員会委員上村栄一さんにかわって、渡邊一郎さん（新町新田）が議会の同意を得て任命されました。



渡邊一郎さん

議会議員のうちから選任される監査委員に、小林正人議員が議会の同意を得て就任しました。八月三十一日付で上村広治議員が辞任し、その後任に選ばれたものです。

農業委員会委員のうち、議会の推せん委員上村広治議員が、八月十九日付で辞任しました。その後任に、沢口富上雄さん（下平新田）が推せんされ、就任しました。

### ● 特別功勞表彰者の同意

特別功勞者として四人を表彰することに同意しました。

数藤 彦三（中屋敷）  
丸山 精二郎（茨城県取手市）  
丸山 雷司（東京都品川区）  
小川 清次（下平新田）

### ● 新設された条例

就労センターの設置及び管理に関する新設条例が、産業厚生常任委員会に審査付託され、その結果、本会議で原案どおり可決されました。

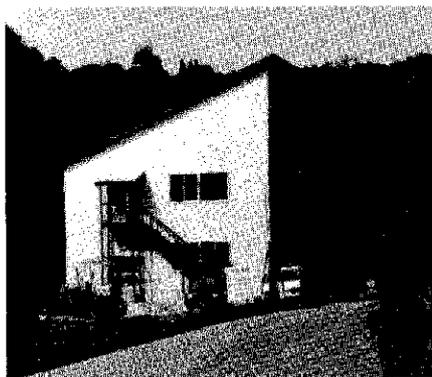
### ● 補正予算

一般会計と簡易水道事業特別会計の補正予算が原案どおり可決されました。

一般会計では、歳入歳出にそれぞれ一億七千三百五十五千円を追加し、予算総額を二十二億一千六百七十万円としました。増額された大きなものとして、歳入では、地方交付税、災害復旧事業の国庫負担金、同県支出金、角万寺スキー場整備のため

の寄附金、国鉄信濃川水力発電再開発計画にかかわる、国鉄からの道路新設事業費負担金などとなっています。

歳出では、保健センター（仮称）、役場駐車場用地購入費、町道新設改良のための物件補償費、克雪住宅建設資金貸付金、角万寺スキー場施設整備費、農地農業用施設災害復旧費などがあります。



建設中の就労センター

### ● 意見書の提出

少額貯蓄非課税制度の存意、私学助成の充実、強化を求める意見書を内閣総理大臣ほかに議長名で提出することを議決しました。

なお、老人保健制度の見直しに関する意見書提出は否決されました。

### ● 水道事業会計

#### 決算の認定

千手、上野（川辺を除く）田戸、中仙田、赤谷、岩瀬地区に給水している、六十年程度の水道事業会計決算が認定されました。決算報告書では、主たる施工事業は、町道改良施工にともなった配水管改良と、水不足地区の配水管改良、山の根地区配水池の流量計の更新などです。

収支面では、上野集落下水道の併用開始等による収益の増、高料金対策としての町一般会計からの繰入金四千八百万円などを含め、全体で一億二千四百四十七万二千円となりました。決算額は次のとおり。

(1) 収益的収入及び支出	
水道事業収益	125,949,508円
水道事業費用	121,472,321円
(2) 資本的収入及び支出	
資本的収入	1,180,000円
資本的支出	20,494,445円
※ 不足額は過年度分損益勘定で補填 留保資金、減債積立金	

# 国鉄信濃川水力発電再開発計画

## 10月1日 覚書を交換

十月一日、町は国鉄信濃川水力発電再開発工事、いわゆる第五期工事に関し、国鉄信濃川工事事務所と覚書を交換し、工事のゴーサインを出しました。これは、五十九年八月の国鉄への申入れ書、今年に入ってから提出した町要望書への国鉄からの回答が、ある程度満たされたものと判断しての結果であります。

### 覚書に至る経緯

五十九年五月、国鉄から信濃川水力発電再開発計画の正式な説明を受けました。以来、町で



覚書交換の模様

は過去、水力発電工事によって、大変な迷惑を被った直接の被害者であることから、この再開発計画による町への影響、特に生活や産業に欠かすことのできな水に対する影響を重視してまいりました。

五十九年八月二十八日付で国鉄への申入れ書を、さらに六十年六月四日に信濃川水力発電再開発計画に関する要望書を提出しました。これに対して六月三十日に国鉄側の回答を得ました。

この間、延べ十数回にわたる説明会の開催や、数十回に及ぶ国鉄との協議を重ねてまいりました。特に、六月三十日に要望書の回答を得た時点で、なお不満とする事項については、精力

的に交渉を行ってまいりました。町民のみなさんが心配している事項について、問題点を一つずつ解決しながら、ようやく町が望むところに近い回答を得、約束させることができたと思われました。

そこで、工事開始のタイムリミット等を考えあわせ、町議会や、地区協議会にもはかり、去る十月一日、最終的な工事同意ともいえる覚書を交換いたしました。

これまで三年間にわたり、将来の町の水問題を左右する大きな問題を抱えた同計画に、町民のみなさんが大きな関心を持ち、町の交渉に対して側面的な応援協力体制をとっていただいたことに、深く感謝しています。

まだ、工事の経緯によっては、その都度解決を図らなければならない諸問題もあります。今後とも、町全体で進行する工事を見つめながら、今回工事が、どんな小さな事柄でも、町民が犠牲になることのないよう、監視を強めていかなければなりません。町民のみなさんからの応援体制も継続して行ってほしいと思います。

ここに覚書の全文を掲載し、要望に対する回答の概略、交渉の経過等をご紹介して、町民のみなさんのご理解を得たいものと思えます。

### 町の要望に対する国鉄回答の概要

#### 一 水対策

基本的にはすべての水利用に支障がないよう、万全の注意を払って工事を行う。

万が一、現在使用している水利用に支障が生じた場合は、直ちに国鉄が責任を持って対処する。

町の将来計画についても国鉄は可能な限り協力する。

#### 二 工事にともなう影響調査

水文調査等、工事による影響を測定する調査は、工事完了後も一定期間継続し、その結果等

を町に提出する。

#### 三 発生土の有効利用

トンネル掘削にともなう発生土は、町の諸計画に合致するよう埋め土とする。

地権者に対しても、十分な話し合いにより補償等を行う。

#### 四 工食用道路

工食用に使用する道路は、安全性を重視して選定し、その補修等は、国鉄の責任で行う。

通学道路等には、必要に応じて、歩道や安全施設を設置し、誘導員の配置も考慮する。

一部新設の工食用道路の建設費負担も行う。

#### 五 安全対策

工事中の交通安全、振動、騒音対策、作業基地の治安等については、地元代表と国鉄で、災害防止連絡協議会を作り、協議しながら災害防止に努める。

#### 六 地域課題への対応

工事に関して地元業者の参加、地元からの物資調達、及び従業員への地元雇用等にはできるだけ協力する。

前期工事における解決未了の諸問題について、今後も協議を続け解決に努力する。



中里村宮中地区、取水施設工事現場 (s 61.9)

七 その他  
補償等については、前期工事の経過をふまえ、住民のみなさんに迷惑をかけないよう、納得の行くまで話し合い、十分な補償を行う。

この回答については、町民のみなさんのご要望に沿うよう、細かなことまで協議をしています。その詳細は、各地区の協議会の席上で説明をしています。それらの内容について、お知りになりたい方は、役場国鉄発電所対策室までお問い合わせ下さい。

## 覚 書

日本国有鉄道が施行する信濃川水力発電再開発工事（以下「工事」という。）に関し、過去における水力発電工事に係わる経緯を踏まえ、誠意をもって協議することを前提に、中魚沼郡川西町を甲、日本国有鉄道信濃川工事事務所を乙として、次のとおり覚書を交換する。

（水対策）

1. 乙は、現状の水利用に支障が生じないよう工事を施行するものとする。  
なお、支障が生じた場合の水源対策として、トンネル横坑の湧水等を利用して、速やかに善処出来るように万全を期するものとする。

また、設置施設の維持管理についても、乙が責任をもって対処するものとする。

2. 乙は、工事に起因し個人の井戸等に損害を与えた場合は、乙の責任において速やかに善処するものとする。

（道路の整備、安全対策）

3. 乙は、工事に使用する道路については、地元と協議のうえ改良整備し、交通に支障のないよう万全を期するものとする。

4. 乙は、工事の施行に際しては、歩行者の安全対策に関し安全対策協議会を設置して、その対策を検討のうえ実施するものとする。

（工事発生土の有効活用）

5. 乙は、工事施行に伴い発生する土砂について、甲の計画と整合が図れる土捨場に搬入のうえ盛土し、関連する道水路を関係行政機関と協議のうえ整備し、その有効活用を図るものとする。

（環境保全）

6. 乙は、工事施行に伴う騒音、振動、汚水等について、環境基準を守り、地元迷惑をかけるよう万全を期して施工するものとする。

7. 乙は、工事に関係する道水路等の整備及び農地の一時転用等について、関係行政機関との協議完了をまって工事を施行するものとする。

（工事施行同意）

8. 甲は上記各項の履行を前提に、信濃川水力発電再開発工事の施行に同意するものとする。

（その他）

9. 前各項に定めのない事項又は疑義を生じた事項については、その都度甲、乙誠意をもって協議するものとする。

以上覚書の証として、本書2通を作成し、甲、乙おのこの記名押印して各1通を保有する。

昭和61年10月1日

甲 中 魚 沼 郡 川 西 町 長

南 雲 春 雄

乙 日本国有鉄道信濃川工事事務所長

林 博

## 協議及び交渉経過

議会国鉄発電所対策特別委員会 要望提出まで 5回  
回答受領後 4回  
町が招集した地区協議会(代表者会議を含む) 7回  
町要望書提出 信濃川工事事務所 6月4日(議会特

別委立会い)

国鉄回答書提出 役場委員会室 6月30日(同上)

信工所長・町長対談 町長室 9月16日

信工次長・町長対談 町長室 7月19日及び8月13日

事務レベル協議 延 32回

覚書交換 役場委員会室 10月1日(議会特別委

立会い)



# 上野小コンビで 川西音頭 ができました。

作詞—中澤松治先生 作曲—市村俊一先生  
(前上野小学校長) (上野小教諭)

一 ハアー  
春は山菜山深く  
ぶなの緑と水ばしよう  
信濃大川水ぬるみ  
芽ぶく社の大げやき

二 ハアー  
千手観音夏まつり  
乙女のゆかた裾ゆれて  
つどう踊りの輪も広い  
若い力も気もはずむ

三 ハアー  
秋はみのりの笛太鼓  
重い稲穂はコシヒカリ  
山の紅葉も日に映えて  
明日のぞみの力湧く

四 ハアー  
城し筋黒松の色  
ほんやらどうのぬくもりに  
ふれる人情細やかに  
松葉の宿の湯にひたる

ホンニ ソーダコテエ ソーダコテエ  
コネエカノ コネエカノ 川西へ

## 緑少団歌なども作詞

中沢先生は、五十八年から二  
年間、上野小学校長として勤務  
今春、三条・須頃小学校長に転  
任されました。

当町在任中、上野小学校の百  
十周年讃歌と緑少団歌を作詞さ  
れました。また、山野田住宅音  
頭を作って本紙で発表したこと  
とも、みなさんの記憶に新しい  
ところです。



### 中沢先生の話

上野小学校在任中に、山野田  
住宅の先生がたと山野田住宅音  
頭を作ったりして楽しんでいま  
した。今回もそんな軽い気持ち  
で応募しました。その後、ちょ  
うど転勤などですっかり忘れて  
いましたが、入選ときいてびっ  
くりしています。

思い出に残る川西町のみなさ  
んに、ちようどよい置き土産が  
できたこと喜んでいきます。いつ  
までもみなさんから愛唱いただ  
きたいと思っています。



### 幅広い趣味で親しみ

市村先生は、五十九年から上  
野小学校教務主任。かつて千手  
小学校に長年勤務し、芦の芽会  
同人で川西町とは縁が深い。

### 作曲は「どじよっこ鮎っこ」

の岡本敏明氏に師事。教育音楽  
誌上の合唱曲ほか校歌、社歌、  
青年学級歌や新民謡では、豊栄  
小唄など多数作曲しています。  
合唱団の指導も、十日町混声  
を皮切りに七団体に及び、三十  
数年のキャリアを持っています。

### 市村先生の話

子供も大人も歌いやすいよう、  
音域があまり高くないよう  
に配慮しました。

一般的に「音頭」というのは、  
いせいがよいのでしょうか、日  
本音階というのは、そんなに明  
るくならないのが普通です。

そこで、少しはずんだリズム  
を織り込んでみました。みな  
さんから明るく歌っていただけ  
たら幸いですが、いささか不安  
もあります。

**作 詞**

**川西音頭の  
できるまで**

本紙1月号で「川西音頭」の作詞を募集。4月末日締切りまでに、13編の応募作品が寄せられました。

5月26日作詞審査委員5人（太田長栄、水品リツ、須藤茂一、中条秀雄、市村俊一）から、作者の氏名を伏せたまま審査。3編を推せんしていただきました。

この3編を6月5日審査員それぞれが多少の添削をして持ち寄り、さらに審査し、2編にしぼりました。

そして、この2編のうち町長が選んだ1編が、中沢さんの作品と決まりました。

素朴に明るく **川西音頭** 中沢松治 作詞  
市村俊一 作曲

♩ = 100 *mf*

ハ - -

はる は さん さ い や ま ふ か く

*mp* ブ ナ の み ど り と み ず ば - し ゅ - う

し な の お お か わ み ず ぬ - る - み

*mf* め ぶ く や し ろ の お お け - や - き

*mp* ホ ン ニ ソ - ダ コ テ ソ - ダ コ テ コ ネ カ ノ

コ ネ カ ノ か わ に - し - へ



**記念式典**

十一月一日（土）

総合体育館

●一部 記念式典（二時開式）

県知事はじめ町外来賓五十余人お招きする予定。

●二部 町民のつどい

（二時から）

川西音頭発表

小・中学生吹奏楽披露

タイムカプセル収納

等々

会場武道館には、絵画、書道など展示。

**川西音頭テープあっせん**

当日会場で川西音頭のテープ（A面新曲、B面伴奏のみ）を実費（八百円程度）でお分けします。後日囑託員を通じて注文もとりまします。

**町の鳥**

キジを

放つ

九月二十日、あいにくの雨の中、町内五カ所の会場から、町の鳥「キジ」を二百五十羽放ちました。

メイン会場の元町、なかまの家グラウンドでは、上野小学校緑少団員と、なかまの家の仲間たちの手で一せいに放たれました。



メイン会場から飛びたつキジ

**緑化苗木市**

Am Pm  
11月1日 9:00~4:00

**総合体育館**

式典行事にあわせて、県国土緑化推進委員会の主催で、苗木をあっせんしています。

当日限りの価格です。ご利用ください。



9月20日 千手小グランド  
 第17回小学校親善  
 陸上大会結果

左=1位 右=2位  
 (3位以下省略)  
 ※印は同記録で同順位

- 5年女子 100M  
丸山安紀子(橘) 滋野文子(橘)
- 5年男子 同  
星名弘文(千手) 渡辺肇(上野)
- 6年女子 同  
大塚恵里(千手) 黒嶋美雪(千手)
- 6年男子 同  
\*高橋修(千手) 井川貴光(上野)
- 5年女子 800M  
丸山安紀子(橘) 押木昌子(仙田)
- 5年男子 1500M  
南雲武幸(千手) 丸山英紀(橘)
- 6年女子 800M  
相馬里美(橘) 片桐恵(橘)
- 6年男子 1500M  
柳浩次(千手) 小林正樹(千手)
- 5年女子 400M リレー  
橘 A 千手 A
- 5年男子 同  
千手 A 橘 A
- 6年女子 同  
千手 A 橘 A
- 6年男子 同  
上野 橘
- 5年女子 走り幅とび  
北村美貴(千手) 野沢淳子(橘)
- 5年男子 同  
南雲武幸(千手) 茂野淳一(仙田)
- 6年女子 同  
高橋奈央(千手) 小林奈奈子(千手)
- 6年男子 同  
柳浩次(千手) 星名聡(上野)
- 5年女子 走り高とび  
平野真樹(千手) \*斉木由香(仙田)  
\*木村まこと(橘)  
\*星野明子(仙田)
- 5年男子 同  
\*真明伸豪(千手) \*相崎文幸(千手)
- 6年女子 同  
\*大塚恵里(千手) \*中川輝美(橘) \*中川まり子(橘)
- 6年男子 同  
\*山岸智和(千手) \*北村直也(千手) \*田村真一(千手)

# 山西町長寿者番付表

(9月1日現在)

氏名	町内名	屋号	生年月日	年齢	番付	氏名	町内名	屋号	生年月日	年齢
中村ソモ	大白倉	伊ノ助	明治24・8・25	95	横綱	丸山周作	原田上	方	明治25・1・27	94
酒井クラ	上町	小路	26・4・11	93	大関	五十川キン	沖立	六兵衛	26・11・19	92
阿部トワ	木島	阿部木工	27・7・21	92	同	柄澤紋治	栄吉		27・10・10	91
若山千蔵	新町新田	佐左工門	10・15	91	関脇	小川駒治	岩瀬	治郎左工門	10・20	91
南雲モト	四郎兼	喜久屋	12・2	91	同	星名佐藤治	上野	星名	12・11	91
高橋キヤウ	坪山	文四郎	28・2・10	91	小結	高橋豊治	高原田	音助	28・3・1	91
柳藤吉	学校町	音松	4・4	91	同	小林カネ	中仙田	兵五郎	6・10	91
沢口由蔵	下平新田	沢与	9・25	90	前頭	小島クニ	新町新田	襦場	11・18	90
米山廣松	室島	杉原	12・6	90	2	和久井イト	木落	勘七	12・24	90
羽鳥徳三郎	伊友	又四郎	29・1・10	90	3	上村キヨ	上野	又八	29・1・13	90
増田文吉	室島	文蔵	2・15	90	4	須藤軍平	下原	きそうえん	4・15	90
水品トキ	新町新田	仙年	5・5	90	5	田村チカ	赤谷	久兵衛	5・30	90
小川國吉	岩瀬	幸吉	6・22	90	6	市川イト	中島町	勇屋	6・29	90
柄澤壯吉	沖立	大林	8・28	90	7	白井セイ	寺尾	新白屋	9・21	89
斎木周作	小脇	勘兵衛	9・28	89	8	小海ソキ	上野	小清	9・30	89
桐生重吉	大白倉	浦	10・14	89	9	平野キイ	上町	平野機械店	10・24	89
高橋コノ	学校町	角屋	11・20	89	10	村山庄八	高原田	街道端	30・1・23	89
登坂カウ	岩瀬	庄左工門	30・2・10	89	11	北村クメ	山野田	くりや	4・10	89
田村ノイ	赤谷	久助	4・19	89	12	米山サク	室島	治郎いん	7・20	89
羽鳥福松	木落	卯之助	11・15	88	13	宮 峯	山野田	朝日屋	12・9	88
田村勘治	上野	田中	12・14	88	14	村山スイ	伊友	治三郎	12・16	88
田村重則	鶴吉	甚助	31・1・8	88	15	高橋義弘	高倉	あめ屋	31・1・25	88
星名チヨ	伊友	小路	2・5	88	十両	井川ツユ	新町新田	東満	3・7	88
須藤スイ	下原	新宅	4・19	88	2	南雲芳野	中央町	常盤屋	5・14	88
星名イマ	伊友	源蔵	5・30	88	3	上村イク	下平新田	芳美屋	32・2・12	87
丸山寅吉	根深	新宅	32・2・15	87	4	羽鳥富太郎	伊友	左官	3・15	87
中村カ子	大白倉	源左工門	5・11	87	5	須藤トク	原田	堤端	5・16	87
小林政治	栄町		6・23	87	6	小林トキ	新町新田	源助	7・18	87
上村米作	上野	若佐屋	7・27	87	7	渡邊イト	上野	智郎佐	9・20	86
高橋直治	三領	家持屋	11・1	86	8	野上ヤス	東善寺	久野屋	11・9	86
斎木治作	学校町	象助	11・20	86	9	藤巻リセ	下原	三助	12・6	86
高橋孫市	高倉	後	33・2・19	86	10	星名ハマ	木島	星名屋	33・3・5	86
若山ミツ	新町新田	佐左工門	4・1	86	11	中条チイ	仁田	三助	5・6	86
櫃間セイ	伊友	吉兵衛	5・9	86	12	村山シマ	新町新田	若の屋	5・12	86
宮 ムメ	東善寺	山城屋 小のん五	5・28	86	13	市川トウ	田中町	上	8・13	86
長谷川ユノ	赤谷	源左工門	8・28	86	14	長谷川理久治	大白倉	甚年の家持	8・25	86

町史の窓

村の開祖と言ひ伝え

数藤氏と須藤氏

数藤氏の祖は、数藤ウネメとミヨシ野媛の御二方から出ている。

のちに立家した須藤氏は、文徳帝の御内である大納言貫盛の子である。裔の須藤河内守は、寿永（一八八二―一八八五）のころ源氏と結んで平家の討伐に加わった。

この子孫が、応永年間（一三九四―一四八二）にゆえあつて数藤姓に復し、後年は橋の下原に定住し、ふたたび須藤姓を名乗っている。

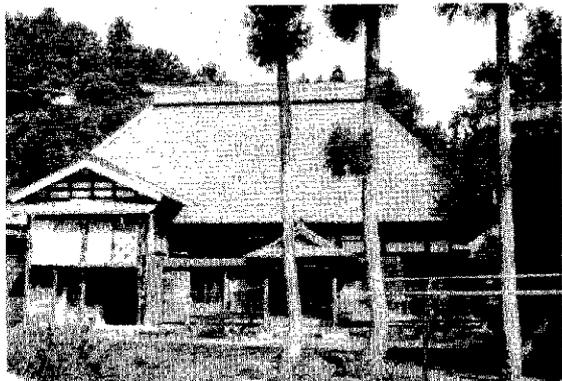
野口と野沢家

文治三年（一一八七）に、源義経が兄頼朝に追われて奥州へ下向したさい、お供の一人に野口三河守乗保という人物がいた。主従が柿崎まで来たとき、足の病いで動けなくなった乗保は、義経に養生するように言われて

現地にとどまった。

翌年、義経の自害を知った乗保は、追手を逃れて流浪の末に橋へ来て定住した。乗保の裔は野口姓を名乗り、その土地はだれからともなく野口と呼ばれるようになった。

永録元年（一五五八）に小千谷の大割元の野沢従平太兵衛を婿養子に迎えたときに野沢と改め、以後は、子孫がこの姓を唱えて現在に至っている。



現在の野沢家

仙田の御旗と長五郎

室島の川崎氏の祖は長五郎で、当主の貞治氏は四十六代目に当たる。天台宗や真言宗が伝わったころ仙田の谷へ入り、代々の祖が行者や山伏になって山岳仏教を広めたようである。

同家には、伝来の錫杖や洞貝数珠、護符などのほか、上杉時代に使ったと思われる寒冷紗の旗や古い書付けが残っている。色あせた和紙に消えかけた文字を、現代のことばでおよそ次のように解説することができた。

「一番の露払いは高田の町、遙かに先に行くもの。新井から入り、関山の本陣へ揃うこと（中略）室島の御旗は大事の御印、南無阿弥陀仏の書出しは越後謙信公の直筆、このぐの品、もうひとつ高田の春日神社にある」。

他人の土地を踏まず

上新井村の関口家は大地主で、字御籠島から渡船場を越えて十日町へ行くにも、人様の地所を踏まなくてよかったほどの繁栄ぶりであった。

もともと、上新井が裕福で身上の良かった事実は、明治二十

二年（一八八九）まで吉田の鉢、中平、明ヶ山、樽沢の四集落が、上新井の枝村であったことである。

赤谷の開祖久助もたいそうな資産家であった。かつて、十日町から嫁を迎えたとき、対岸の島から「他人の土地踏まず」に嫁御が来たと語り継がれている。

源助と佐助の新田開発

下平新田の清水氏は、祖を源助といい、越中国富山城主の家臣であった。ゆえあつて城を離れ、身上野に潜めて下平で開こんした。そのかいあつて元和の末から寛永のなかば（一六二四―一三四）にかけて九十余地に水田を得、いつしか集落を形成して下平新田と名付けられた。

新町新田の内山氏は、祖を佐助といい、頸城郡小猿屋村（上越市）の人であった。

寛永年間（一六二四―一四四）に上野の北方へ来て定住した。荒れ地を開こんして軌道にのり家数も十七戸まで増加した。天和のききんで多くの死者が出、一時は六戸にまで減少したこともあつた。元禄時代になって再び繁栄して、薪や秣に不足し、仙田村や信濃川東岸の村々から刈り取りの山をゆずり受けた。

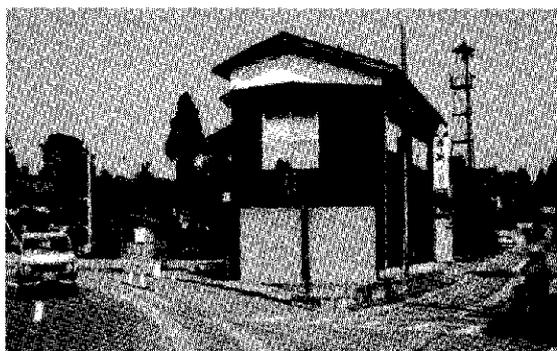
黒島村と小海氏

友重の放水路のあたりに、沖立に属した黒島という村があつた。元禄七年（一六九四）の「村鑑」によると高三斗八合を数えている。

しかし、信濃川のたび重なる大洪水で居住できなくなり、吉田の鉢や明ヶ山、下条の原、川口の山の相川などに分散して住んだ。尾身姓であつたが、明治以後は小海の二字を用いている。

橋に田中兄弟

寛保（一七四一―一四四）のころ、高田城主榊原政永の臣であつた二人の兄弟が、世をはばかり真人の干溝家へ立ち寄つた。田中の姓をもらい、兄の又左衛門は下原に、弟の嘉兵衛は仁田に落着き百姓になり永住した。



新町新田三差路

はいけいふるさとさん

去年秋、越ヶ沢部落が長い歴史の幕を閉じました。今春、同所出身者が集まって閉村式が行われました。その席で川崎さんが自作の「ふるさとのうた」を披露しました。紹介します。



長岡市 川崎 富雄さん (越ヶ沢出身)

越ヶ沢の世帯数と人口の推移

年	世帯	人口
45	38	163
50	19	69
55	12	48
56	11	47
57	7	30
58	7	29
59	5	13
60	2	6
〃	1	4
〃	—	—

ふる里のうた

- 一 トンネル過ぎれば 桂平団地  
前田の田圃や 沢尻の道  
林道のぼれば 峠の村よ  
一望千里に 山波見える  
あ、ア越ヶ沢 ふる里がある  
ふる里がある
- 二 祭りばやしは あの諏訪祭り  
おみこし渡御で 一夜を明かす  
笛と太鼓で 音にぎやかに  
老いも若きも 皆楽し  
あ、ア越ヶ沢 ふる里がある  
ふる里がある
- 三 時代の流れは 月日と共に  
国道が通って 流れが変わる  
昔偲んで 明るく生きる  
永久に幸あれ 村人よ  
あ、ア誰にも故郷がある 故郷がある

事業所統計調査 結果速報

川西町の事業所は394

事業所統計調査が、7月1日現在で全国いっせいに実施されました。

川西町の民営事業所数(概数)を次のとおり発表します。

(単位：事業所)

地区名	昭和60年調査(概数)	昭和57年調査	比較
千手	180	197	△ 17
上野	86	83	3
橘	71	67	4
仙田	57	71	△ 14
計	394	418	△ 24

※今回発表の概数は、後に総務庁が公表する数字と相違することがあります。

千手小の花壇



千手小

花いっぱいコンクールで

最優秀賞に輝く

九月二十二日第十九回花いっぱいコンクール(あしたの新潟県を創る運動協会ほか主催)で千手小学校が、最優秀賞を受賞しました。

同校では、五十七年度から五年続けて参加。優良賞と優秀賞を受賞しています。今回、最高の最優秀賞に輝き、三賞のすべてを受賞したことになります。さらに今年、県自治活動賞にも推薦されました。

全校児童が一人一鉢運動を行い、豪雪の冬期間も校内から花を絶やさない努力が実ったものです。

審査委員から「学校、PTAの連携がうまくいっているのがわかる」「花づくりは厳冬期に下地を作らなければならぬのに、寒冷地でよくここまで素晴らしい花壇を作り上げたものだ」と称賛されました。

### この機会にどうぞ 合併30周年 記念たとう

特製台紙に、町の花「山ゆり」  
町の鳥「きじ」、それに「水ば  
しょう」の切手を組合わせたも  
のに「千手(特製記念日付印)」  
「上野」「橘」「仙田」の各郵  
便局の日付印を押印してありま  
す。

価格 250円(送料60円)

発売日 11月1日

申込先 千手郵便局

(☎68-2070)

川西町記念切手同好会

### アンデパンダン展開催

川西町美術協会では、次の日  
程で第12回アンデパンダン展を  
開きます。たくさんの出品とご  
観覧をお願いします。

◎日時 11月15日(土)

9:00~20:00

16日(日)

9:00~16:00

◎場所 総合センター

◎展示 絵画、書道、写真の  
各部門

◎作品搬入 11月13日(木)

9:00~19:00

### ガイド



### 停電のお知らせ

10月30日(木) Am 8時~11時30分

中仙田の一部、赤谷、岩瀬、  
大倉、大白倉、小白倉の全部

10月30日(木) Pm 1時~4時30分

坪山、霜条、鶴吉の全部

### 心配ごと相談

10月15日(水)..... 克雪センター

22日(水)..... 総合センター

29日(水)..... "

11月5日(水)..... 元町集落センター

12日(水)..... 公民館橘分館

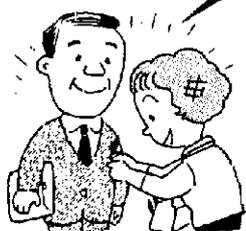
※時間は午後1時~3時です。

### 9月の交通事故発生件数

		累計	
件数	3 (2)	24 (15)	
傷者	3 (3)	34 (23)	
死者	0 (0)	0 (0)	

( ) 内は前年同月の件数

### わかちあう幸せ



赤い羽根共同募金

10月1日~12月31日

### 秋の夜長は 読書です



10月27日~11月9日  
は読書週間です。総合セ  
ンターなどに設置されて  
いる公民館図書が、ご利  
用をお待ちしています。

### 行政相談

10月12日(日) 公民館橘分館

15日(水) 克雪センター

18日(土) 総合センター

いずれも午後1時~3時です。



### 恋のグイック攻撃で

### 福島県から

坪山高橋悦子さん

### 出会い

東京の同じ職場に勤めていた  
のに、半年間お互いに顔も名前  
も全くわかりませんでした。

ところが職場のバレーボール大  
会の練習をしていたたまたま彼  
の存在を知ったのです。アラク  
ノ私の職場にもこんなカッコイ  
イ、頼もしい素敵な人がいたの  
かしら...と心はずむ思いでした。  
練習中に何故か私のところに強  
力な「アタック」を決めてくる  
のでウーン、これはと気付き、  
その後スポーツを通じ自然に親  
しくなってきました。

### 川西町に嫁いで

生まれ育った所は福島の会津  
で、雪は例年一メートル余り降  
りますのでその点雪には驚きま  
せん。向うの冬は寒くて大変で

すが川西は雪が積ってしまおうと  
割合暖かいので過し易いです。  
雪掘りを二年経験してみました  
がああ作業は体力つくりがいい  
ようです。体を動かすのが大  
好きなので勤めの合間にちょ  
っと田んぼの手伝いもするんで  
すよ、ふっふっ。

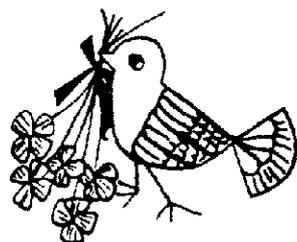
### 若い層に望むこと

ママ層を含めて若い人たちが  
うちに引っ込んでいるような感  
じがしますね。私自身も愛児会  
くらいにしか出られませんが、  
スポーツやおしゃべりすること  
が大好きなのでいろんな機会を  
利用し出してみたいと思います。

若い人達の交流の場がないみ  
たいですけど...。スポーツ等の  
サークルがあれば積極的な活動  
が出来ますし、カップルも生ま  
れやすいのではないでしょうか。  
(インタビュー=家庭相談係)



# 善意



次の善意が寄せられました。

## ◆一般寄付金

\*龍巳下ライプイン (中仙田) から五千五百四十八円

## ●広報発行に

\*富井末さん (市川市) から、一万円

\*室岡倉二さん (流山市) から、一万円

\*登坂力さん (浦和市) から、八千円

\*望月アイ子さん (二宮市) から、一万円

## ◆社会福祉協議会に

\*柄沢一也さん (東京) から、千四百四十円

\*松本幸子さん (東京) から、一万円

\*千手スタンプ会から、スタン  
プ一万円相当

長野県西部地震 (五十九年九月十四日発生) で、未曾有の災害に襲われた同県木曾郡王滝村から、一冊の本「まさか王滝村に」が町に贈られてきました。その災害記録ともいうべき本書に、災害の恐ろしさを知ると同時に、見事復興した村のようすをうかがうことができます。



王滝村から贈られた本

## 千手婦人会から

### 図書券寄贈

今年二月末日解散した千手地区婦人会 (当時小林トシ会長) から図書券四万千円相当が寄贈されました。

町では、この図書券を千手小PTA設置の「草の根文庫」から活用していただくことにしました。

## 庁内人事

\*退職 九月三十日付

丸山惣吉 (住民課長補佐)

## ねん

## きん

### サラリーマンの

### 奥さんの年金

奥さんも全員国民年金に

扶養の場合に限ります)

今年の四月から、サラリーマンの奥さんは、全員 (二十歳以上六十歳未満の人) 国民年金に加入することになりました。これによって基礎年金が支給され、奥さん名義の年金をもつことになります。(これを「第二号被保険者」といいます)

奥さんも全員国民年金に  
職した後には、奥さんは六十歳になるまで、今までのように国民年金に加入し、個別に保険料を払わなければなりません。

任意加入している人

保険料は、ご主人の加入している厚生年金、各種共済組合から、年金の支払いに必要な額がまとめて支払われます。今までのように保険料を個別に納める必要はありません。(ご主人の

その加入期間 (保険料払込済期間) は、老齢基礎年金の金額に算入されます。任意加入の期間が長ければ長いほど、年金額は多くなります。

また、国民年金のほかに、厚生年金、各種共済組合に加入していた実績があれば、六十歳か

ら老齢厚生年金が支給され、国民年金分の老齢基礎年金は六十五歳から支給されます。

### 振替加算制度

今まで国民年金に任意加入しなかった人は、保険料を納めていないので、今度強制加入になっても、加入期間が短く年金は少額となります。

そこで、奥さんが六十五歳になった時点で、加給年金相当額として奥さんの年齢に応じた額を、奥さん自身の老齢基礎年金の額に振替えて加算することにしました。

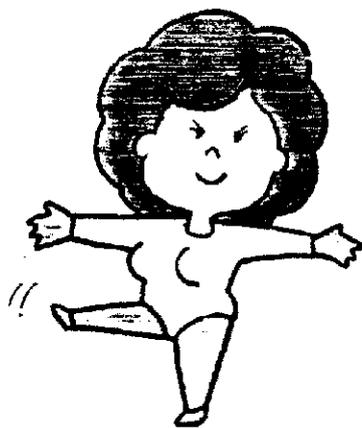
これは誤解です!

ご主人の給料から奥さんの保険料が天引きされるわけではありません。

一部に、サラリーマンの奥さん (第二号被保険者) として届けた方で、ご主人の給料から奥さんの保険料が天引きされると思っている人がいます。

新しい制度の厚生年金、共済年金では、奥さんがいても独身でも保険料は変わりません。ご主人の加入する厚生年金や共済年金が、制度全体として負担する仕組みになっています。

## 第3号被保険者



サラリーマンの奥様 (専業主婦) で20歳以上60歳未満の人

## ふくし

# 小腸と

## 大腸の働き

### 小腸

小腸は、空腸と回腸に分けられています。内壁は、横に輪状のヒダがあり、この状態の長さは二〜三メートル、ヒダを伸ばすと六〜七メートルになると言われています。ヒダの中には、無数の絨毛とよばれる粘膜の突起でおおわれ、絨毛の表面は、栄養素の吸収細胞があり、ここで栄養素を吸収しています。

食物は口でかみ砕かれ、胃と十二指腸で消化液と混ぜ合わされたものが、もう一度腸のヒダとぜん動運動によってこね回され、吸収しやすい状態に消化されます。

糖質はブドウ糖に、たんぱく質はアミノ酸に、脂肪は中性脂肪に、それぞれ栄養素として始めて血液中に吸収され、体の各部

分に分配されます。

### 大腸 (結腸ともいう)

大腸の働きの第一は、水の吸収と電解質(主としてナトリウム)の吸収です。大腸の内容物の90%は水分です。固形物は未消化の繊維と少量のたんぱく質、脂肪で、大腸通過中にどろどろの内容物は、半固形の便として直腸内に押し進められ、たまるとその反応で便意を感じます。

また、大腸内は無数の細菌で消化が助けられています。その菌は主に、乳酸菌(善玉)と大腸菌(悪玉)が代表です。腸内で悪玉菌が勝てば、下痢、腹痛を起します。

最近、食生活の欧米化で大腸ガンが増えています。血便、便秘、下痢等いつもと様子が変わったなら早目に受診してください。



# くらしと健康

## 戸籍の窓から

うぶ声 — おすこやかに

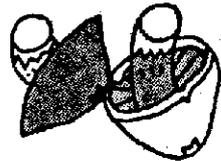
相崎沙代子 芳則 二女 下平新田  
小林 直美 壯一 長女 木島  
廣田 豊美 敏之 長女 沖立

丸山 真 政夫 長男 木落  
田口 憲 信雄 二男 木落

羽鳥宏太郎 宏史 長男 中央町  
野澤 康一 勝美 長男 野口

貴田 裕明 道雄 二男 伊友  
渡邊 明子 重義 長女 仁田

丸山くに子 中屋敷 三〇  
茂野 ミイ 藤沢 七二



## かわにし俳壇

太田白南風選

三領 水品 律

○建前のクレーン高し天高し  
棟上げの祝ぎの餅撒く天高し  
秋茄子の添木傾ぎて小粒なる  
魚沼の山々の鬚霧動く

霜条 大海 正夫  
桐の実や雨雲重くのしか、り  
コスモスに花嫁を寮送り出す

産卵の蠶嬢しばし見ておりぬ  
草の穂に松虫すめる月今宵  
野口 野沢 寅生

倒れたるま、なる蕎麦の花ざかり  
霧の野や雉子放鳥の札たちぬ  
白萩を咲かせて古き開業医  
二三坪胡麻畑ありなつかしき

霜条 星名 星光  
稲架の面をとびゆく秋の蝶白し

人々に四尺花火の成功す

稲屑の火のやわらかく燃え残る  
稲刈機吹き出す藁の小刻みに

三領 高橋たかし

朝露の払えるまでの菜を間引く  
暮れなぞむ藁焼く煙り真すぐに  
桐一葉音カサとして舞い落つる  
炉開きに四五人招き後の月

岩瀬 小川 益栄

かやの葉をゆらしかまきり身構へり  
朝寒や電話のベルの高き音  
ひろくと水澄み初めしいわし雲  
室島 米山 米峰

山頂の送電塔や秋晴る、  
小さきみに羽根ゆりとり赤とんぼ  
世のよこれ歎き仰ぐや天の川  
中仙田 左 木人

独り寝のせまくも窓の寝待月  
大いなる夕日を背に稲を刈る  
草の花手に採りためて下校の子  
八王子 田中 ひさ

葉の陰に紅を刷きたる櫓の実  
郷里へ向く長蛇の車盃蘭盆会

## 投句要領

▶はがき1枚に5句前後。▶題はとくに定めません。▶町内合名、氏名(雅号)川西町役場内「文書広報係」中央町「太田白南風」▶毎月末日切。▶初心者の投句歓迎。

『多く作って無駄を省く』  
感動したこと、ひらめいたこと、写生の一言片句はその時書き留めておく、又、これらの語句を十七字にして11づさんでみる。季節の感じを種々の形にまとめてみる。句帳というのは大低句材の羅列になるものだ。その一つ一つをじっくりと頭に入れて一句を構成していく。十七字にまとめるには欠くことのできない要素を中心に取り入れて邪魔は省き無駄な説明をくどくどとしないことが肝要である。

## 初心者講座 ③

たかさこーご円満に  
新太郎 平野 敏雄 田中  
新婦 杉山真紀子 神社町  
昇天——ごめい福を祈る